

映画『ぼくらのレシピ図鑑』シリーズ第2弾の製作が決定 福岡県田川市を舞台に女優・池田エライザが初メガホン



株式会社映画24区（東京都／代表取締役・三谷一夫）は「地域」「食」「高校生」をキーワードに全国の自治体と組んでつくるオリジナル映画「ぼくらのレシピ図鑑」シリーズ第2弾の製作を発表致します。

今回の舞台は福岡県田川市となります。

監督は福岡県出身の女優・池田エライザが務め、脚本は「文学処女」「青と僕」など人気テレビドラマを手掛ける下田悠子が初の映画脚本に挑みます。

撮影は2019年の夏、2020年の劇場公開を予定しています。

第1弾映画「36.8℃サンジュウロクドハチブ（監督・脚本 安田真奈）」は女子高生がメインのお話でしたが、今回は男子高校生がメインとなる青春映画を予定しています。

<池田エライザ監督コメント>

お話をいただき、年末にシナリオハンティングに行かせていただいてから数ヶ月間。私の頭の中にはいつも田川市に生きる人々が輝き続けております。お会いした方々の心に触れ、感じたことを、一つ一つ大切に物語の中にしたためていくつもりです。同じ福岡県民として、愛おしき故郷を、様々な方に愛していただけるよう、精一杯作り上げていきます。素敵な機会に感謝します。そして、田川市の皆様、是非ご協力よろしくお願い致します！

<三谷一夫（映画 24 区代表・プロデューサー）コメント>

今回、女優の池田エライザさんに監督をお願いしたのは、ご本人に映画作りに最も大切な「ものづくりの精神」と言いますか、職人的な気質を感じたからです。弊社が製作に関わった映画『21 世紀の女の子（全国で公開中）』でも 90 年代生まれの若い監督たちとご一緒しましたが、この年代の女性はものをつくる、表現するというところに長けています。昨今は俳優業と兼務して監督やプロデューサー業に進出する人もでてきましたが、女優においてはまだまだ少ない。現在の仕事や立場における既成概念にとらわれず、誰もがつくるということにもっと自由に、もっと食欲になっていいし、そういう状態が日本映画界においても好ましいと感じています。池田さんは映画にドラマに大活躍されている女優さんですが、映画監督・池田エライザとしての作品づくりを私自身が一番楽しみにしています。ご期待ください。また、「ぼくらのレシピ図鑑」シリーズ第 2 弾に手をあげていただいた福岡県田川市の二場市長をはじめ、実行委員会の皆様には改めて感謝申し上げたい。この映画のコンセプトである、市民一体となった映画づくり、そして持続可能な町づくり、人づくりに貢献できるよう池田監督をはじめスタッフ一丸となってこの夏に挑みたいと思います。

<二場公人（田川市長）コメント>

田川市は、「月が出た出た月が出た、サノヨイヨイ」のフレーズで広く知られる盆踊りなどでお馴染みの「炭坑節」発祥の地。炭坑節の中で唄われている「二本煙突」をはじめとした数々の炭坑遺産を有する自然・歴史・文化が薫るまちです。今回、「高校生」と「食」をテーマとしたぼくらのレシピ図鑑シリーズの第 2 作目を、この田川市を舞台として製作することとなりました。この映画の撮影で、地域住民のみなさんと一体となって地域の新たな魅力を掘り起こし、発信していこうと考えています。今まで田川での映画撮影は炭坑関係のものが多かったのですが、今回の撮影は、現在の田川を舞台としたものであり、新しい田川へのイメージ転換ができる絶好の機会になるでしょう。

また、地域の特産品を活用した新たなメニュー開発や高校生が映画づくりのサポートに携わるなど 6 次産業の育成による雇用の創出や若年層の定住促進、将来の田川を支える人材育成など様々な効果が見込まれます。昨年末に監督の池田エライザさんが本市を訪れた際、今回の映画製作にかける想いを聞かせていただきましたが、とても芯がありしっかりと信念を持っているという印象を受け、必ず本市の魅力を余すことなく描いていただけるものと確信しております。

今回の映画製作において、地域住民、行政、監督、制作スタッフが一致団結して素晴らしい作品を作り上げていただくことを期待しています。

<山崎拓也（実行委員会会長）コメント>

近年、さまざまな地域において、そのまちが持つ魅力を発掘し発信することで、地域活性化に取り組まれています。今回、田川市を舞台とした映画づくりが決定し、そのコンセプトは田川の高中生や地域住民が、食・脚本・演技などをテーマにワークショップを重ね、地域一体となって田川の魅力を発掘するなど、監督、制作スタッフ、行政、地域住民が連携して行う地域参画型のプロジェクトです。このプロジェクトに地域住民が参画する機会を創出することや、魅力ある田川を発信する幅を広げ、関係機関をサポートしていくことが実行委員会としての大切な役割であると考えます。この機会に感謝し、実行委員一丸となって多くのひとに故郷田川と作品に魅力を感じていただけるようこのプロジェクトに全力でチャレンジさせていただきます。

<「ぼくらのレシピ図鑑シリーズ」とは？>

2018年にスタートした地域の「食」や「高校生」とコラボした美味しい青春映画制作プロジェクト。従来の商業映画と違い、企画の段階から自治体や市民の参加型であることが特徴。地元の食材や風景がたくさん登場する、世界に1つしかないオリジナル脚本による作品づくりを行います。

第1弾は兵庫県加古川市を舞台にした映画『36.8℃サンジュウロクドハチブ（安田真奈監督・脚本）』。地元公開後、東京、大阪、名古屋、九州地区で上映され、小体作品ながらスマッシュヒットとなりました。その後も映画祭や学校を中心に各地域での上映が続いています。—1本の映画をつくり上げた時間（過程）が、地域にとってかけがえのない財産になる—「ぼくらのレシピ図鑑シリーズ」の映画づくりが大切にしているコンセプトです。

ぼくらのレシピ図鑑公式HP

<http://bokureci.eiga24ku.jp>

シリーズ第1弾『36.8℃サンジュウロクドハチブ』

<http://sanrokuhachi.jp/>

池田エライザプロフィール

1996年4月16日生まれ。福岡県出身。2011年に映画「高校デビュー」でデビュー後、主演作「一礼して、キス」「ルームロンダリング」、話題作「SUNNY 強い気持ち・強い愛」「億男」など映画に精力的に出演。現在は映画「賭ケグルイ」、主演映画「貞子」が公開待機中。本作が初監督作品となる。

<クレジット>

原案：池田エライザ 監督：池田エライザ 脚本：下田悠子

プロデューサー：三谷一夫 高田知佳 監督補：金田敬

企画：田川市シティプロモーション映画製作実行委員会・映画24区

企画協力：ABCライツビジネス

協力：田川市・たがわフィルムコミッション

製作・配給：映画24区

<お問い合わせ>

株式会社映画24区

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-20-8-BF

TEL：03-3497-8824 info@eiga24ku.jp